

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 助川中学校体育館

【男子の部】 第1日目 Jコート 第4試合

チームA 東海大学第四 北海道	93	{ 16 1Q 10 18 2Q 22 38 3Q 17 21 4Q 17 OT	66	チームB 県立鹿沼東 栃木
-----------------------	----	---	----	---------------------

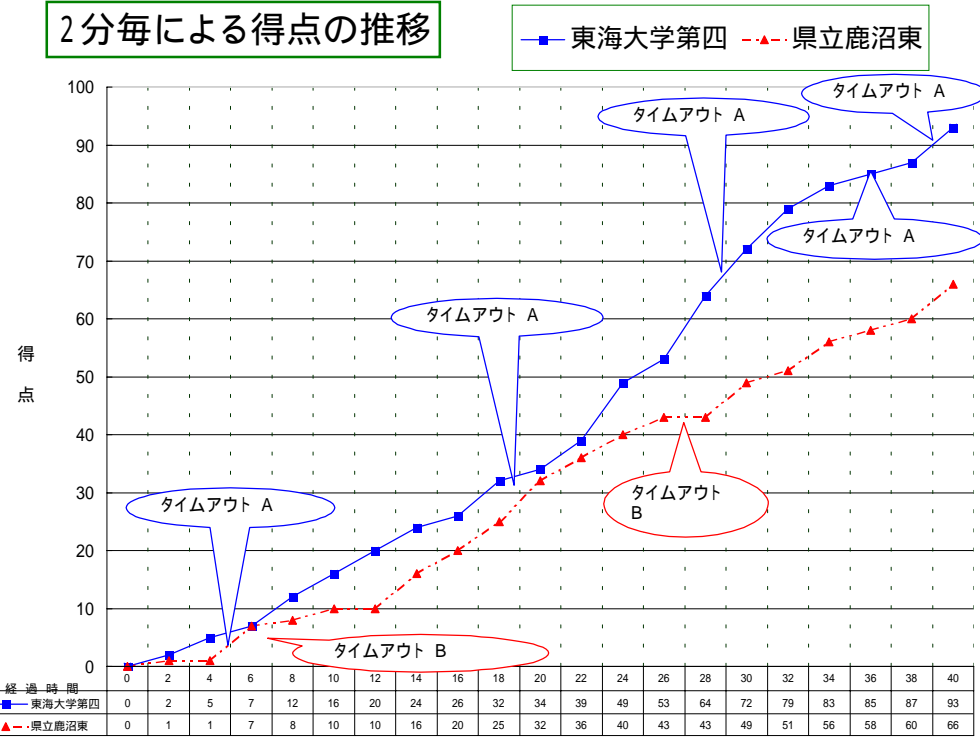
東海大学第四

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	阿部 佑宇	16	0	6	8	14	0	0	3	0	6	0	6	4	0	38
5	大友 肇	27	1	6	10	12	4	7	1	1	2	4	1	7	0	32
6	永田 啓洋	11	0	0	5	7	1	2	2	4	2	1	0	0	0	22
7	長尾 寛	6	0	0	2	5	2	2	3	0	1	0	0	1	0	16
8	藤吉 勇太	13	1	3	5	13	0	0	2	1	1	1	1	2	1	31
9	新妻 武	4	0	2	2	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	9
10	西川 智	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
11	安田 裕佑	4	0	0	1	1	2	2	2	0	0	1	0	0	0	7
12	小松 秀平	2	0	0	1	3	0	1	4	0	4	1	1	2	0	15
13	増田 優希	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
14	山田 健太	8	0	1	4	10	0	0	2	1	0	0	0	0	0	23
15	館岡 祐弥	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
コーチ	永野 進								0							
		93	2	18	39	67	9	14	21	8	18	9	9	16	1	200
		確率	11.1%		58.2%		64.3%									計 26

県立鹿沼東

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	高崎 陽平	17	2	12	2	9	7	11	4	2	1	4	1	2	0	31
5	高村 成寿	19	0	0	9	13	1	2	2	1	10	4	0	2	3	40
6	高橋 侑也	3	1	3	0	2	0	0	1	1	3	1	0	0	0	27
7	野崎 泰成	0	0	0	0	1	0	0	3	1	3	5	1	4	0	30
8	松枝 知宏	13	2	11	3	6	1	2	3	0	1	3	1	3	0	40
9	木村 敦則	12	0	0	5	6	2	3	1	0	5	1	2	1	0	28
10	矢島 玄															DNP
11	荒川 智矢															DNP
12	池田 泰典	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
13	高久 卓実	2	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
14	新井 亮行															DNP
15	吉澤 康太															DNP
コーチ	千村 隆								0							
		66	5	26	20	39	11	18	14	6	24	20	5	12	3	200
		確率	19.2%		51.3%		61.1%									計 30

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでゲームスタート。ともに固さが目立つ立ち上がりで、東海の#4阿部、鹿沼の#4高崎が積極的にミドルシュートを放つも決まらない。5分経過で7-5と鹿沼2点のリード。その後東海が#5大友のドライブインや#8藤吉のミドルシュートで次第に得点を重ね、16-10と東海が6点リードで第1P終了。第2Pに入ると、東海は積極的なディフェンスからスピードを生かし、#14山田の速攻や#6永田のミドルシュートで得点。しかし、対する鹿沼もセンターの#5高村の高さや、#8松枝の3Pシュートなどで必死についていき、34-32と東海が2点リードで第2Pを終える。

第3P、東海は#5大友のドライブインやミドルシュートで完全に流れをつかみ、スピードあふれる攻撃で鹿沼を圧倒。次々に得点を重ね、72-49と大きくリードを広げる。

第4P、鹿沼はオールコートの2-2-1ゾーンプレスをかけて東海のリズムをくずしにかかるが、スピードで勝る東海は、逆にボールをコントロールしながら得点を重ねる。結局スピードとスタミナで勝る東海が鹿沼の追撃を許さず、93-66で勝利を収めた。

主審 藤垣 庸二

副審 大森 智之

記入者 友部 進